第65号 平成31年4月発行

# けんぽく農林ニュース

## ふくしきから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

〜県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する 情報をお知らせします〜



県北地方では、「幸水」「豊水」「王秋」などのナシが栽培され、8月下旬から 11 月まで出荷されています。

今年7月には、全国ナシ研究大会が福島県で開催されます。



福島市内のナシの花

### 福島県県北農林事務所 新所長あいさつ



芳見茂県北農林事務所長

4月1日に県北農林事務所長に着任いたしました た芳見茂です。

県庁と相双地方を行き来していたため、伊達市 在住ですが、県北農林事務所勤務は初めてとな ります。

改めて、県北地方の農林業を俯瞰しますと、農業では、何と言っても福島市、伊達地方を中心とした果実生産が目を引きます。これに加え、近年はきゅうりの生産が際立って伸びており、須賀川・岩瀬地方を抜いて県内一の産地となっています。さらに福島市の小菊などの花き生産も盛んで、これら園芸作物の産出額は、県内の4割以

#### 上を占めています。

一方で課題もあります。桃の産出額は、震災前の9割弱にとどまっており、風評の根強い影響が続いておりますし、安達地方や川俣町で盛んだった畜産についても、原発事故の影響が未だ尾を引いており、畜産の復興・再生が不可欠です。

林業では、林野率は県平均を下回るものの、県民の森やフォレストパークあだたらなど県民に開かれた森林環境を有しており、第 69 回全国植樹祭の開催理念である「未来へつなぐ希望の森林づくり」を引き継いでいく条件が整っております。

県北地方は、福島県の農林業を牽引する地域と原発事故の被災地域を併せ持った福島県の縮図であります。県北農林事務所の総力をあげ、明るい光の輝きを増す施策を積極的に推進するとともに、被災地域の営農再開を強力に支援してまいりますので、今後も引き続き、皆様の御理解と御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

### 平成31年県北地方山火事防止パレードを行いました!

平成31年4月5日(金)に県庁本庁舎前において、県北地方山火事防止地区連絡協議会主催による山火事防止パレード出発式を開催し、約80名が参加しました。

協議会会長である芳見茂当事務所長の挨拶の後、福島森林管理署、福島市消防本部、福島県北森林組合の広報車が、信夫山・大波・立子山・飯野方面と飯坂・大笹生・土湯・松川方面の2コースに分かれてパレードを行い、山火事防止の注意を促しました。

平成30年の福島県内の林野火災発生数は57件(県消防保安課 速報値)で、特に空気が乾燥する3月から5月にかけて多発する傾向にあります。

このため、県北地方では、農作業による山林周辺での野焼きや行楽による入林者の多くなる3月1日から5月10日までを山火事予防強化月間と定め、全国山火事予防運動統一標語「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」の下、山火事防止運動を推進しています。

農作業による野焼きや、山林に入る時には、火の取扱いに十分注意し、山火事を起こさないようにしましょう。

(森林林業部)





山火事防止パレード 出発

協議会会長 芳見当事務所長 あいさつ

### 農業総合センター長期就農研修(研修科目:果樹)入所式が挙行されました!

平成31年4月8日(月)、農業総合センター果樹研究所において、農業総合センター長期就農研修(研修科目:果樹)研修生入所式が挙行され、研修生10名が入所しました。

果樹研究所での長期就農研修は長い歴史があり、県内に多くの果樹経営者を輩出しています。 1年間の研修を通して果樹栽培における最先端技術に触れ、研修生同士で切磋琢磨すること、多 くの先輩農家と交流を深めることは、将来の果樹経営者として独り立ちしていく研修生にとって、 大きな自信につながるのではないかと思います。

入所式では研修生 10 名がそれぞれ果樹栽培や農業に対する思い、就農や研修にあたっての意 気込みを表明しました。

当事務所としましても、継続して研修生の就農や果樹経営に対する支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



10名の研修生が意気込みを表明



研修生と果樹研究所、各研修支援機関の職員

### 安達管内で2農場がふくしま県GAPを取得しました!

本宮市の御稲プライマル株式会社と大玉村の武田農園が、平成 31 年3月8日付けで、水稲部門においてふくしま県GAP(FGAP)認証を取得されました。

御稲プライマル株式会社は平成29年度に、武田農園は平成30年度にJGAPの認証を取得しています。その取組に加え、今回はFGAPの追加認証制度を利用し、安達管内では初めてFGAP認証を取得されました。

GAP取得に取組んだことにより、「農作業の安全意識が高まった」、「農薬や肥料等の在庫管理を 行うことでコスト削減につながった」と話されており、販売面においては、クレームの減少や販売量 の拡大等について効果が見られているとのことです。

当所では、関係機関・団体と連携し、農産物安全や労働安全、農作業の効率化等に向け、引き続きGAP取得を支援してまいります。

(安達農業普及所)



御稲プライマル株式会社 常務取締役 後藤勇次さん



武田農園 武田藤男さん

### バラと木の香りにつつまれたひとときを!



福島市佐原にあるあづま総合運動公園内の「あづま香りのバラ園」に、木製の四崎が完成しました。これは、木景観形成促進事業を活用し、福島県産のスギ材・ヒノキ材で作られたものです。公園利用者へ休憩・眺望の場を提供することを目的としており、ふんだんに使われた木材からぬくもりが感じられます。

香りのバラ園内には、300種、1,500株のバラが植栽されており、毎年6月には「あづま香りのバラ園まつり」が開催されます。まつりや園内散策の途中の休憩場所としてお立ち寄りいただき、木の香りにつつまれてはいかがですか。

(森林林業部)



全景



内部の様子



ベンチと椅子



看板



## ~「いちごから笑顔」を届けたい!~ 松葉園カフェにようこそ!



平成31年4月7日(日)、伊達市霊山町でいちごを生産している株式会社松葉園(代表取締役大橋松太郎氏)が、伊達市梁川町にある「やながわ希望の森公園産業伝承館」にカフェをオープンしました。このカフェは、本紙63号(平成31年2月発行)で御紹介した松葉園本店カフェ(伊達市霊山町山戸田)に続き2店舗目となります。

松葉園はいちごの生産に加え6次産業化にも取り組んでおり、これまでに自社で収穫したいちごを使用した「いちごサイダー」や「いちごサイダーフロート」、さらには、急速凍結したいちごを使ったシルクのような質感のかき氷「フローズンコットン」(商標登録申請中)を開発し、販売しています。

大橋松太郎氏とカフェ部門担当の由貴子氏は、「いちごから笑顔」と名付けた今回のカフェ展開について、「伊達のいちご、松葉園のいちごを多くの方に知ってもらい、お客様の『美味しいね』のひとことと笑顔のために、これからも挑戦をしていきたい。」との意気込みを語っています。

なお、今後、季節限定で伊達市産のブドウや桃を使用した「フローズンコットン」メニューも登場しますので御期待ください。また、松葉園のカフェは2店舗とも水曜日定休、営業時間 10 時~15 時 30 分 (ラストオーダー) の営業となっています。

当所としましても、「伊達地域のいちご」そして生産者の経営発展のために引き続き支援を行ってまいります。

(伊達農業普及所)



フローズンコットン(いちご)



いちごサイダーといちごサイダーフロート



松葉園の大橋松太郎・由貴子夫妻



松葉園本店カフェ・産業伝承館の目印

### その山菜、出荷して大丈夫ですか?

県北地方では、下記のとおり出荷制限指示が出されております!! 再度確認のうえ、出荷制限品目を出荷・販売しないよう、御協力願います。

平成31年4月4日現在

大玉村
大玉村
大玉村
大玉村
大玉村

出荷が制限されている品目については、<u>自主検査により「基準値(100Bq/kg)以下」であっても出荷や販売(無人販売所等への陳列含む)は行わないでください。また、飲食店や宿泊施</u>設等での提供や加工用原材料としても使用しないでください。

なお、最新の情報は福島県ホームページなどで確認いただくか、当事務所にお問い合わせくだ さ い。

- ◆ふくしま新発売。(農林水産物モニタリング情報)URL http://www.new-fukushima.jp/
- ◆お問い合わせ先

福島県県北農林事務所 森林林業部林業課

電話 024-521-2632 FAX 024-521-2851

(森林林業部)

### 学校給食または病院食の食材購入費補助金の利用希望者を募集しています!

県では、学校給食や病院食における県産農林水産物の積極的な活用を促し、学校給食等を通じ た地産地消を促進するため、学校給食及び病院食の食材購入費の補助や、地産地消に関連した食 育活動の取組を支援します。ぜひ、御活用ください。

#### ■募集期限

令和元年5月13日(月)

(募集期限後も追加募集することがありますので、お問い合わせください。)

### ■事業内容

- (1) 市町村立学校給食、病院食の食材購入費の補助
- (2) 学校等が行う食育活動等経費の補助 学校や病院、栄養士や調理師等で構成される団体等が実施する地産地消に関連した食育活動 や研修会等の経費を補助します。
- ■申請/お問い合わせ先

福島県県北農林事務所 企画部地域農林企画課 野島 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (福島県庁 北庁舎5階) 電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

■詳しくは、「学校給食等地産地消推進事業」URL・・・

http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/kyuushoku.html

#### 市町村農業関係担当者及び学校給食・病院食関係担当者の皆さまへ

平成31年度学校給食等地産地消推進事業について

福島県県北農林事務所企画部 H31.4月

学校給食は、児童生徒の望ましい食生活の形成や、感謝の心・郷土愛を育む大 切なものですが、大震災以降は県産農林水産物の使用量が減少しました。 このため、平成25年度より学校給食における県産農林水産物の活用を積極的 に行う市町村等の取組を支援し、地産地消を推進しています。(平成29年度から は、病院食も対象)

せび地産地消と食育の推進のため、事業を積極的に活用してください。 なお、過去に事業実施された学校・病院も再度取り組むことができます。

市町村立小中学校及び市立特別支援学校(小学部・中学部)の学校給食、および県内 病院の病院食に県産農林水産物を括用した食事(「ふくしまふるさとメニュー」)を児童・ 生徒、入院患者に提供する際の食材を購入する経費の補助(※1)と、学校等が実施 する地産地消に関連した食育活動や食農教育、研修会に係る**活動経費の補助**(※2) をする事業です。

学校:対象となる児童生徒数(5/1時点、又は実施当日の人数のいすれか少ない方)に500円を乗じた額

病院:対象となる入院患者数(申請時点)に2.000円を乗じた額を年間上限額とします。

(※2) 補助額は1団体あたり50,000円を上限とします。

#### Oどこが事業実施主体になれますか?

市町村点にぶない。市町村教育委員会会市町村立小中学校、市立特別支援学校、学校給食センター、共同調理場、病院(※1、2)、栄養士会、PTA等(※2のみ)からも事業申請ができます(私会計を適用している組織でも独自に申請できます)。

#### ○食材購入費の補助は、どんな食材が対象となりますか?

1回の給食等を構成する品目のうち、8割以上の品目(※3 (※4) **を使用したメニュー**であれば、すべての食材購入費が対象となります。 ふくしまふるさとメニュー提供のため購入、使用した食材については、他のメニュー に使用した分も含めて補助対象とします。(按分の必要はありません)

(※3) 例えば、1回の給食が主食1品目、主菜1品目、副菜2品目、デザート1品目、飲料1品目の合計6品目であった場合、このうち5品目以上が県産農林水産物を活用したものであれば、要件を満たします。 (※4) 加工品の場合は、原材料の農林水産物が福島県産であること。



◎事業実施後は、納品書、請求書、提供メニュー写真、提供実績人数がわかる書類等によ る実績確認を行います。原則、納品書は事業に使用した食材のみを分けて記載してもら ってください。

#### ○**食材購入費**補助と**食育活動費**補助はセットですか?

両方でもいいですし、それぞれどちらかだけでの申請も可能です。

#### ○事業実施にはどんな要件がありますか?

食材を購入する経費の補助は、過去の事業実施団体を含め、全ての市町村立小中学

#### ○事業の実施期間はいつですか?

成31年4月15日から令和2年3月31日までです。ただし、事業の実施は実施計 画の承認後となります。

県北農林事務所 企画部 電話 024-521-2596 詳細については、本事務所ホームページをご覧ください https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/kyuushoku.html

(企画部)



# けんぱくの直売所紹介 まちの駅 やながわ 「伊達鶏を使ったおにぎりが大人気!」

伊達市梁川町にある「まちの駅やながわ」はこの4月でオープン1周年を迎えました。地元産の新鮮な野菜等の直売所と、お食事処を併設し、地域の方々の憩いの場となっています。

お食事処で販売中の、伊達鶏のもも肉がゴロっと入った「肉ゴロッとおにぎり」は、全国スーパーマーケット協会の「お弁当・お惣菜大賞 2019」おにぎり部門で全国 4,655 件の応募の中、最優秀賞に選ばれました。受賞後は平日で平均 700~800 個、週末では 1,500 個も売れるほどの超人気商品となっています。3月から、第2弾の「ハンバーグゴロッとおにぎり」の販売も始まりました。地域の方々はもちろん、遠くは関東からも買いに来るというおにぎり。販売はお食事処が営業している午前 11 時から午後1時半までですが、営業時間終了前に売り切れてしまうことがありますので時間に余裕をもって行ってみてください! なお、たくさんお買い上げになりたい方は前日のお昼までなら予約注文が可能です。下記の電話番号までお問い合わせください。

### ●事業者データ

まちの駅 やながわ

〒960-0741 福島県伊達市梁川町字大町一丁目 60

**2**024-573-7235 FAX024-573-7236



まちの駅やながわ 外観



肉ゴロッとおにぎりを使ったお弁当も販売中!



左 ハンバーグゴロッとおにぎり 右 肉ゴロッとおにぎり



お店で1つ1つ手作りしています。

#### 編集·発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850 ホームページ <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/</a> 電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

